

# 当社管内における今夏の電力需給状況について

平成 2 4 年 9 月 2 8 日

東北電力株式会社



<参考> 東北7都市平均の最高気温

	7月				8月				9月			
	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間
今夏の実績	26.6	27.7	29.9	28.1	31.0	31.2	33.5	31.9	31.1	31.4	—	—
平年気温	25.4	26.5	28.9	27.0	29.8	29.3	28.5	29.2	27.0	24.8	22.6	24.8

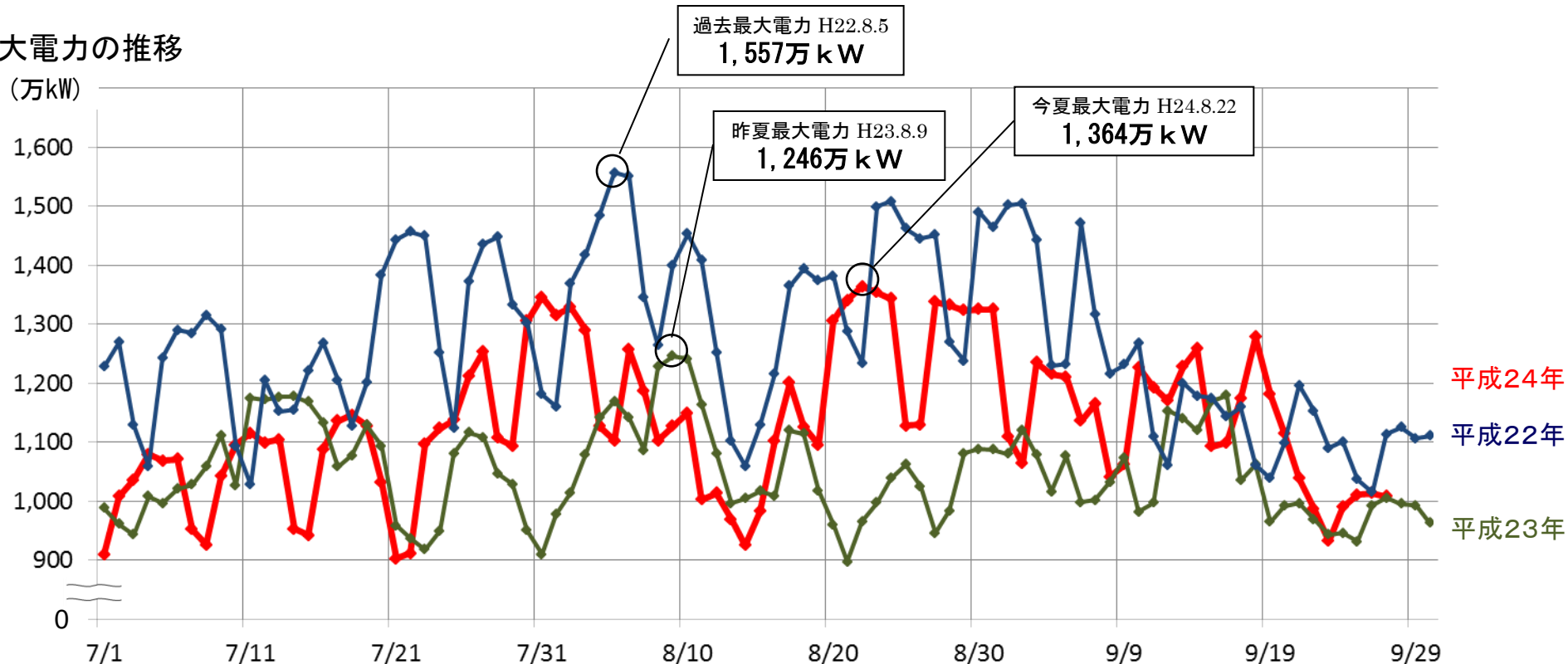
# 今夏の最大電力および日電力量

## ■ 当社管内の最大電力と日電力量の実績

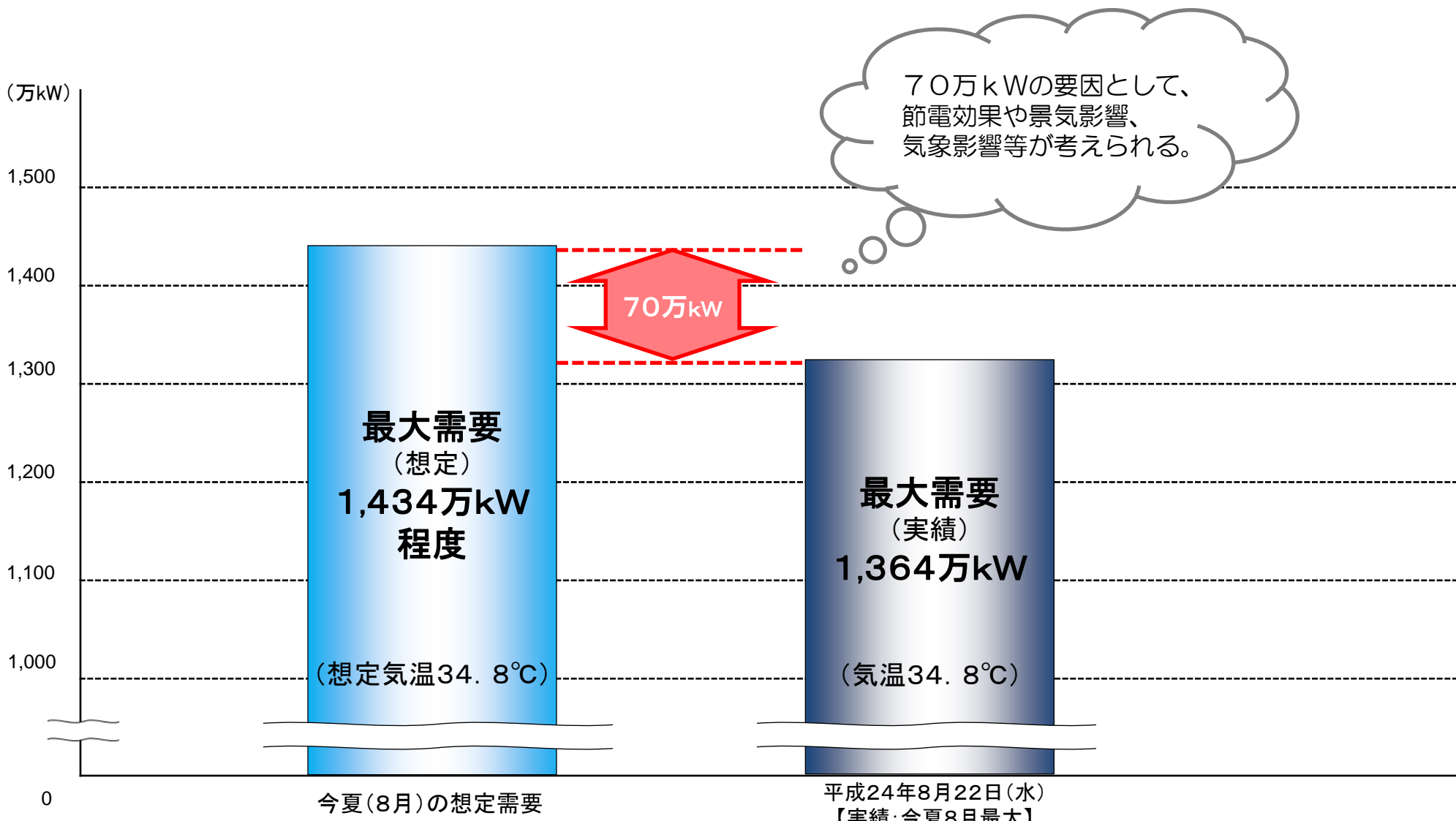
(単位：万kW、万kWh、℃)

	【最大電力】			【日電力量】	
	発生日	最高気温	発生日		
今夏の記録	1, 364	H24. 8. 22 (水)	34. 8	26, 554	H24. 8. 23 (木)
昨年夏の記録	1, 246	H23. 8. 9 (火)	32. 8	24, 940	H23. 8. 10 (水)
過去最大記録 〔夏季最大〕	1, 557	H22. 8. 5 (木)	35. 0	31, 253 〔30, 061〕	H23. 1. 20 (木) 〔H22. 8. 5 (木)〕

## ■ 最大電力の推移

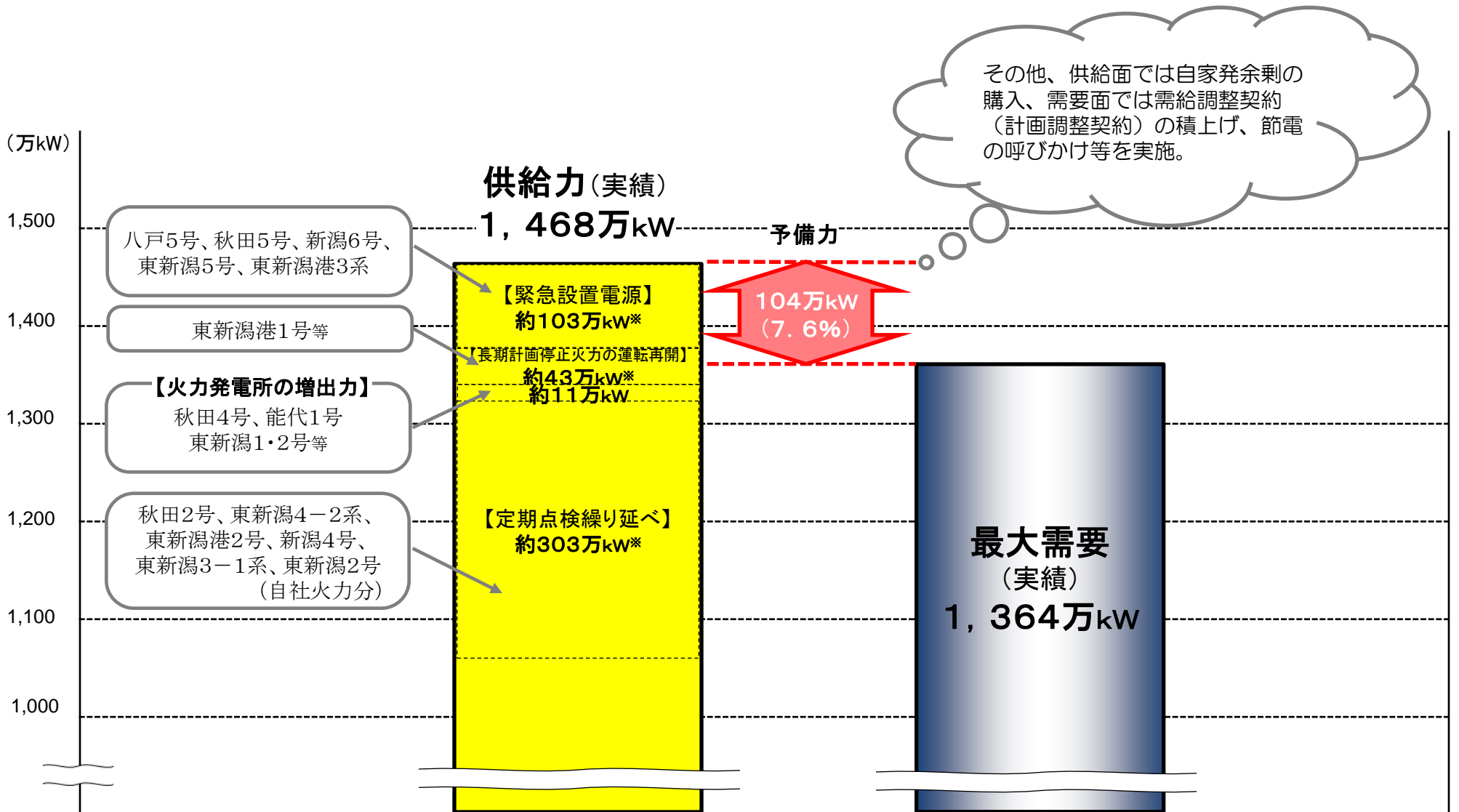


■平成24年5月のエネルギー・環境会議に報告した今夏（8月）の需給は、一昨年（平成22年）並みの猛暑、節電効果を50万kWとし、1,434万kW（随時調整契約の発動を考慮せず）と想定。



# 今夏最大電力発生時(8月22日)の供給力と需要の比較

■東日本大震災以降、緊急設置電源の設置や長期計画停止としていた火力発電所の運転再開、火力発電所の増出力のほか、火力発電所の定期点検時期を所定の手続きを経たうえで繰り延べするなど、供給力を確保。

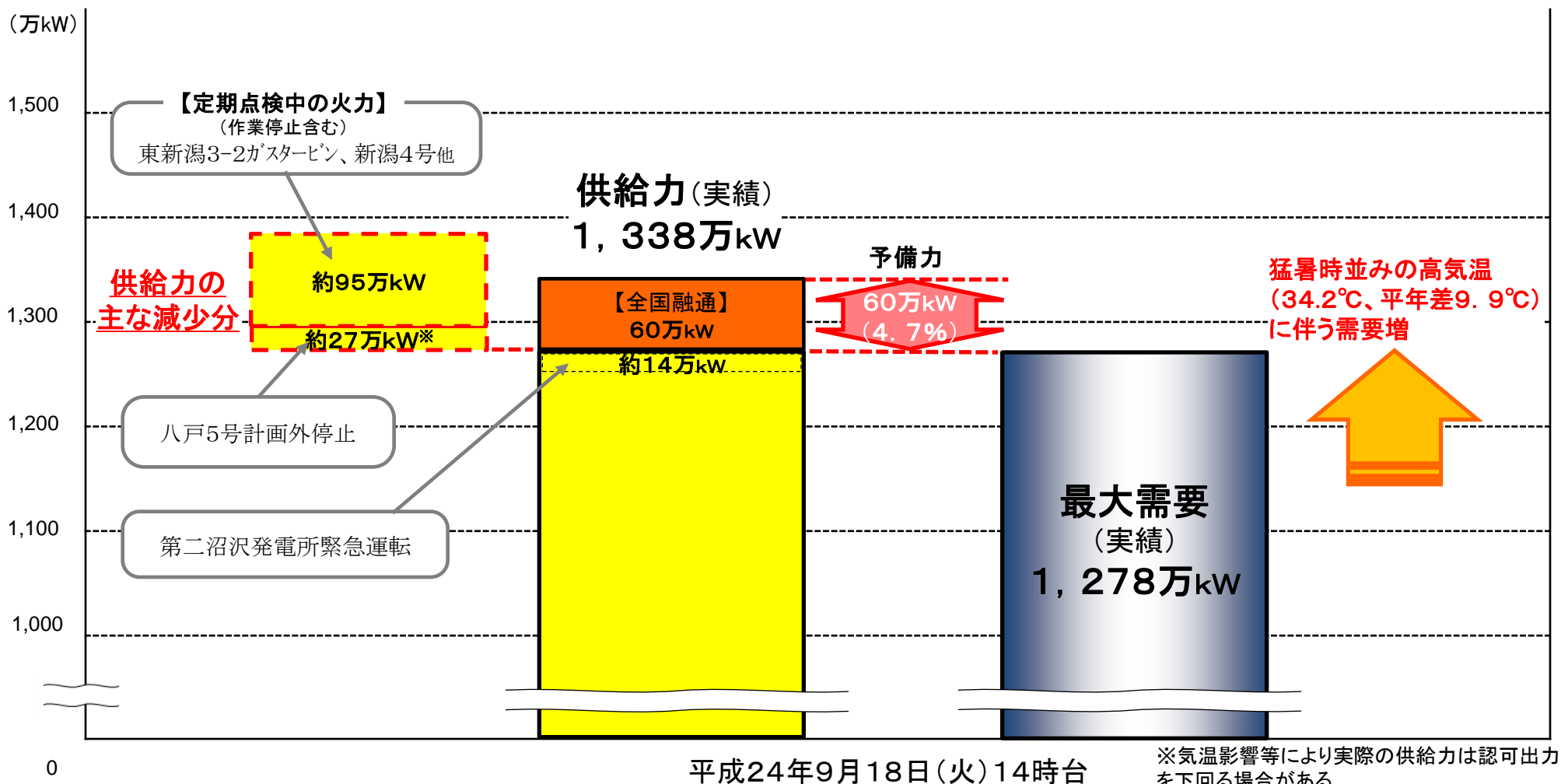


平成24年8月22日(水)14時台

※気温影響等により実際の供給力は認可出力を下回る場合がある

# 今夏需給が最も逼迫した際(9月18日)の供給力と需要の比較

■例年、9月に入ると気温が低下し、需要も落ち着くことから、時期を繰り延べしていた火力発電所の定期点検を順次開始しているなかで、猛暑時なみの高気温を記録したことに加え、緊急設置電源である八戸火力発電所5号機が自動停止したため、予備率が今夏最小を記録。



発電所号機	定格出力	発生日	トラブル概要	運転再開
柳津西山地熱	6.5万kW	H24. 7. 26	ヘッダータンクの水位上昇による保護装置動作	H24. 7. 27
秋田3号機	35.0万kW	H24. 8. 2	ボイラーバーナーの一部不具合に伴う火炎の発生	H24. 8. 15
東新潟5号機※	33.9万kW	H24. 8. 7	発電機回転数制御回路の不具合	H24. 8. 9
八戸5号機※	27.4万kW	H24. 8. 23	ガスタービンに付属する弁の不具合	H24. 8. 27
八戸5号機※	27.4万kW	H24. 9. 18	ガスタービンに付属する弁の開閉状態を検出する電気回路の接触不良	H24. 9. 19

※東日本大震災以降に設置した緊急設置電源